

競技上の注意

- 1 選手変更とミスプリントがあれば報告する。
- 2 選手の変更は、団体戦・ダブルスとも監督会議でのみ認める。その後の変更は認めない。
 - ① ダブルスでは、片方の選手変更は認める。2人ともの変更は認めない。ただし、2人とも棄権の場合は、オープン参加として、申込をしていない選手が出場できる。その場合、試合結果にかかわらず、予選リーグは最下位、3・4位トーナメントは1試合目で「負け」とする。
 - ② 団体戦で2チーム以上出場している場合、チーム相互間の選手変更は認めない。
- 3 競技について
 - ① 現行の日本卓球ルールで行う。なお、タイムアウト制は団体戦のみ1部・2部とも、1・2位決勝トーナメントの準決勝より採用する。
 - ② 試合は、11点5ゲームズマッチ、団体戦は2点先取で行う。
 - ③ 審判は、団体戦では相互審判。ダブルスはプログラムに記載の待機チームとする。
ただし、団体戦・ダブルスとも1・2位決勝トーナメントの準決勝から開催県が担当する。
 - ④ 表彰は各種目1部・2部（1・2位決勝トーナメント）のベスト4までとする。ただし、3位決定戦は行わない。
 - ⑤ ボールのメーカーは試合コートで選択する。（タマス・VICTAS・Nittakuを準備）
 - ⑥ 本年度の日本卓球協会のゼッケンを必ず着用する。
 - ⑦ 団体戦には4～6を登録し、1番ダブルス・2番ダブルス・3番シングルの順に試合を行う。
1番、2番のダブルスには重複して出場することができない。3番のシングルスには誰が出てもよい。
25歳以上30歳未満の選手は、ダブルスカシングルのいずれかに1回しか出場できない。
 - ⑧ やむを得ぬ事由により選手が3名以下のチームは、必ず本部と同ブロックのチームに連絡すること。
 - ・3名の場合は、1番をあけてオーダーを記入する。
 - ・2名の場合は、オープン試合とする。
 - ⑨ オーダー用紙は各チームに4枚（予選リーグ3枚・トーナメント1枚）配付する。
自分のチームの同じオーダーを左右に記入し、切り離さずに提出する。
オーダーミスについて、確認の時点で分かった場合は訂正を認める。
- 4 競技の進行について
 - ① 予選リーグのコートはプログラムに記載したとおりとする。団体戦は2コート以上使用することがある。
ダブルスは、1コート使用で行う。
 - ② 予選リーグの次の試合のオーダー用紙は試合が終わり次第、本部に提出する。
なお、第1試合のオーダー用紙は9時00分までに提出すること。（時間厳守）
 - ③ 試合結果は勝ったチーム(組)が記録用紙を本部席へ提出する。なお、記録はポイントまで正確に記入すること。
 - ④ 決勝トーナメントは、団体・ダブルスとも各ブロックの1位と2位のチーム(組)および3位・4位のチーム(組)で行う。
 - ⑤ ベンチは、番号の若いチーム(組)が、本部席側とする。
- 5 ラバーの接着行為について
 - ① ラバーを貼る場合は、日本卓球協会公認の接着剤を使用すること。
 - ② ラバーの貼り替えは、必ずラバー貼替所で行うこと。
- 6 その他
 - ① ゴミは全てお持ち帰りください。
 - ② 貴重品・シューズの管理は各自でお願いします。
 - ③ 長袖（アンダーウェアに限る。）、ジャージ、スパッツを認める。
 - ④ 体育館前のプールの駐車場には駐車しないでください。